

事業計画書の記載要領

【様式2】

1. 補助事業の内容

| | |
|--------------------|---|
| 事業の名称 | (例) 「・・・の・・・化施設整備」 |
| 申請者の区分 | ・中小企業基本法第2条の定義により1か2を、優良産廃理業者、エコファクトリーの認定状況を、○で選んで下さい。 |
| 補助事業の目的 | (例) 「現在、埋立処分が主流になっている・・・について、・・・を行うことにより、・・・として再生利用する。」 |
| 補助事業の概要 | (例) 「・・・の・・・を行うため、次の施設の整備を行う。 ①・・・、②・・・」 |
| 期待される事業効果 | <p>(例)</p> <p>「①・・・の埋立処分量の大幅削減 ・・・については、・・・が困難なことから、埋立処分が主流となっているが、・・・により再生利用することで、埋立処分量の大幅な削減が図られる。(年間〇tの削減) ②県内初の・・・のリサイクル このリサイクルシステムは、県内では例がなく、本施設の整備により、県内で発生する・・・の約〇割程度が再生利用されることが期待でき、循環型社会形成に大きく寄与する。」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>補助事業の採択に当たって最も重視される項目なので、以下のようなアピールポイントをわかりやすく記載してください。 ①埋立処分がリサイクルに移行する等、循環型社会形成促進に効果があること、②効果が定量的に示されること、③エネルギー回収、省エネ改修によるCO₂削減効果が具体的に示されること、④当該廃棄物のリサイクル等について、地域の核となる施設となること、⑤モデル的な事業として、県内への波及効果が望めること等。</p> </div> |
| 補助対象事業費 | 消費税抜きの金額を記載。(消費税は対象外。) ※「2補助事業の予算」の合計額、「3補助対象事業費明細」の合計額に一致。 |
| 補助金額 | 補助対象事業費に1/3を乗じた金額。(千円未満は切り捨て。) |
| 事業の実施場所 | 施設を設置する場所です。 |
| 廃棄物処理法及び指導要綱に基づく手続 | いずれかに○をつけて下さい。 有の場合、()内に内容を記載してください。 |
| その他法令等に基づき事前に必要な手続 | 同上 |

2. 補助事業の予算

| | |
|----|-----------------------------|
| 支出 | 各区分毎に金額を記載してください。 |
| 収入 | 借入金・その他は、（ ）内に調達先を記載してください。 |

3. 補助対象事業費明細

| | |
|-------|--|
| 規模・能力 | 「2. 補助事業の予算」の支出区分欄に依じて、各事業費の明細を記載してください。構築物は構造・延床面積、機械装置は処理能力(t/日)を記載してください。 |
|-------|--|

【様式3】

| | |
|------------------|---|
| 事業のフロー | 「廃棄物の収集」→「リサイクル等の工程」→「販売」までの流れについて、わかりやすい図で表してください。 |
| 原材料となる廃棄物の収集計画 | 原材料となる廃棄物の収集計画・見通しについて、できるだけ具体的に記載してください。原材料の安定的な確保の見通しは、補助事業計画の重要なポイントになります。 |
| 再生品の品質・規格 | 再生品に求められる品質基準等を記載してください。 |
| 再生品の販売計画及び収支の見通し | 再生品が、品質を保持した製品として安定的に販売される見通しがあることが、補助事業計画の重要なポイントになります。リサイクル事業といえども、一定の採算性が求められます。 |
| 事業の全体計画 | 許可等の手続きを含めた全体の工程を記載してください。 |